

## 山田 幸恵

インタラクション科学研究所

ヒューマンロボットインタラクション研究室 客員研究員



### ロボットいじめのエスカレートモデル

公共の場にロボットを導入すると、ロボットがからかわれたり、叩かれたり、蹴られたりすることがあります。多くの場合は子どもや若年者が行うことが知られています。この現象はロボットいじめとよばれ、ヒューマンロボットインタラクション研究の対象となっています。ロボットいじめは、ロボットが目的とする役割を果たすことができなくなったり、場合によっては壊されたりしてしまうため、ロボットの社会導入にあたっての障壁となりうる問題です。

本講演では、ロボットいじめについて、子どもとロボットの出会いから、子どもがいじめを始め、いじめが深刻化していく過程を観察し、質的・量的に分析した研究を紹介します。ロボットいじめは急に深刻ないじめが起るのではなく、人間同士のいじめと同様に少しずつ増悪していくことがわかりました。この研究の知見を発展させることで、ロボットいじめの予防的な介入手法を提案することができると考えています。

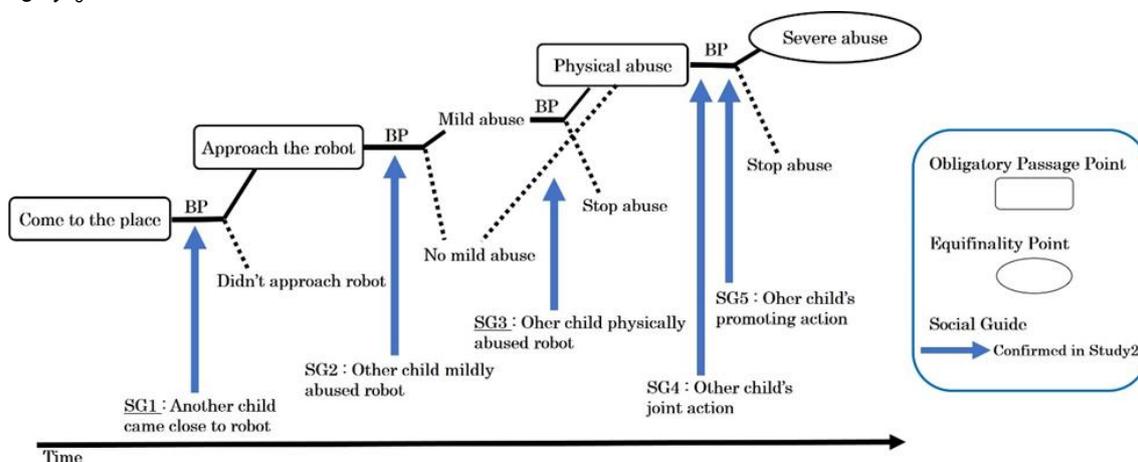


Fig. 1 ロボットいじめのエスカレートモデル